

Ensemble de Bois

アンサンブル・ドゥ・ボワ

室内楽演奏会



ピアノ 秦 江里奈



ヴァイオリン 鈴木亜久里



ヴァイオリン 米元響子



ヴィオラ 井野邊大輔



チェロ 銅銀久弥

3/24 2026
火 18:30開演
18:00開場

王子ホール チケット 5,000円(全席自由)

王子ホールチケットセンター

TEL: 03-3567-9990(平日のみ) WEB: www.ojihall.jp

[主催] Ensemble de Bois [後援] 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)
[お問い合わせ] akurisuzuki0046@gmail.com

W.A.Mozart [Pf 秦/Vn 鈴木]

Sonata for Piano and Violin in G major KV379

R.Schumann [Pf 秦/Vc 銅銀]

Fantasiestücke op.73

A.Dvořák [1vn 米元/2vn 鈴木/Vla 井野邊]

Terzetto in C major op.74 for Two Violins and Viola

J.Brahms [Pf 秦/1vn 鈴木/2vn 米元/Vla 井野邊/Vc 銅銀]

Piano Quintet in F minor op.34



秦 江里奈 ピアノ

ELINA HATA

桐朋学園大学を卒業後、同大学弦楽器伴奏研究員、洗足学園大学ピアノ演奏研究所を修了の後留学。H=P.ロジェ、G.ムニエに師事。パリ・エコールノルマル音楽院にて最高課程演奏家ディプロム(コンサーティスト)をピアノで満場一致、同ディプロムの室内楽部門を満場一致の首席にて取得。ルーセル国際コンクールにて最優秀室内楽賞。パリ・サルコルトにてリサイタル。マリア・カナルス国際コンクールで1位なしの第2位と特別賞メダルを受賞。日本演奏連盟主催で東京文化会館にてリサイタル。チャイコフスキー国際コンクールにてのセミファイナリスト。バガテル公園ショパンフェスティバルに出演。アレキサンドル・デュマ劇場の年間シリーズ公演に出演。エコールノルマルにてムニエクラスのアシスタントを務めるが2001年に帰国。川崎市よりアゼリア輝賞受賞。全日本ピアノ指導者協会正会員、洗足学園音楽大学講師、桐朋学園大学講師(心身コントロール)



鈴木亜久里 ヴァイオリン

AKURI SUZUKI

桐朋学園大学音楽部卒業、同大学研究科修了。第15回東京国際室内楽コンクール(民音コンクール)第1位、斎藤秀雄賞受賞。イタリア(ヴィットリオ・グウィ)国際室内楽コンクール)デュオ入賞。NHK「FMリサイタル」「午後のリサイタル」「ベストオブクラシック」に出演。東京など各地でリサイタル開催。安田謙一郎弦楽四重奏団、海野義雄東京ヴィルティオーゾのメンバーとして演奏活動を行う。現在桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」講師。東京音楽大学専任講師。全日本芸術コンクール、全日本弦楽コンクール、世田谷音楽コンクール、ベートン音楽コンクール審査員。日本演奏連盟正会員。



米元響子 ヴァイオリン

KYOKO YONEMOTO

3歳よりヴァイオリンをはじめ、梶田昭、伊達良、桐朋学園「子供のための音楽教室」では鈴木亜久里に、後に海野義雄の各氏に師事。1997年バガニーニ国際ヴァイオリンコンクール(イタリア)において史上最年少13歳で入賞後、日本音楽コンクール、モスクワ・バガニーニ国際ヴァイオリンコンクール優勝など数々の賞を受賞。これまでに国内の主要オーケストラはもとより、モスクワ国立響、リンブルフ響(オランダ)、リエージュ王立フィル、ビルバオ響等の海外オーケストラとも多数共演。室内楽の分野でもヨーロッパ・日本を中心に活躍中。現在、マーストリヒト音楽院教授。キングインターナショナルより初のCDアルバム「イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲(未完の新発見ソナタも含む)」をリリースし、文化庁芸術祭優秀賞を受賞。



井野遼大輔 ヴィオラ

DAISUKE INOBE

学生時代より演奏活動を始め、1991年 満場一致の支持率をもってNHK交響楽団に入団。第68回 日本音楽コンクール作曲部門 委員会特別賞受賞。NHK交響楽団に22年在籍した豊富な経験を有し、音楽テキストに誠実で、その構築力に定評のある実力派。また、楽器をコントロールする確かなテクニックに裏打ちされる多彩な音色と表現力で聴衆と共演者を常に魅了し、厚い信頼を受け続ける。霧島国際音楽祭等数々の音楽祭、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団演奏会、サイトウキネンオーケストラ、ロンドンフィル及びBBC交響楽団メンバーとツアーなどに出演。ペレーニ・ミクロシュ氏とのドン・キホーテ、東京都交響楽団での野平作品、JAOフェスティバル(高円宮妃殿下ご臨席)でのベルリオーズ「イタリアのハロルド」ソロはいずれも絶賛された。近年では、指揮者やヴァイオリニストとしても自らリーダーとなる室内楽や合奏団を中心に活動を展開。2013年NHK交響楽団 退団。2014年から仙台フィルハーモニー管弦楽団ソロ首席、2015年より大阪フィルハーモニー交響楽団 特別契約首席を兼務する。洗足学園大学及び大学院講師。



銅銀久弥 チェロ

HISAYA DOGIN

ソロ、室内楽、オーケストラ客演首席で活躍しており、美しい音色と深い音楽性で多くの聴衆を魅了している。広島市出身。桐朋学園子供のための音楽教室広島教室で、斎藤秀雄氏と門下の著名なチェリスト達の指導を受ける。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)と桐朋学園大学および同大学研究科では、藤原真理、倉田澄子、井上頼豊の各氏に師事。在学中、桐朋学園オーケストラ、広島交響楽団のソリストとして共演した。読売新人演奏会、広島市新人演奏会出演。米国のタングルウッド音楽祭に奨学金を受け参加。1984年からNHK交響楽団で36年間演奏し、次席奏者も務めた。在団中にN響の海外研修員として、ミュンヘンでW.ノータス氏に師事した。さくら弦楽四重奏団では、ベートーヴェン全曲チクルスなどを継続的に演奏している。チェロ四重奏団「ラ・クアルティナ」ではCDを多数リリース。ソロCDアルバム『パンペアーナ』も好評を得ている。2012年より桐朋学園大学院大学教授に就任。2022年からは桐朋オーケストラ・アカデミー所長を兼任し指導を行なっている。